

## 関西 EAC 第483回例会(オープン例会)のご案内

■ テーマ イノベーションは組織を超える

■ 日時 2019年1月25日(金)13:20~17:00

■ 場所

富士ゼロックス株式会社(大阪市)Document CORE Osaka  
 大阪市中央区本町3-5-7 御堂筋本町ビル ショールーム2F セミナールーム1  
<http://www.fujixerox.co.jp/company/showroom/region05/osaka.html>

■ 交通手段

地下鉄御堂筋線 本町駅下車3番出口上ル

■ 備考

オープン例会は、広く設計開発部門におけるプロセス革新活動について議論するために、会員以外の皆様にもご案内します。

■担当幹事 LIXIL 垂水氏 / KYOSOテクノロジー 神田氏 / CADネットワークサービス 西村氏

■オープン例会は参加無料・事前登録制です。先着順に受付ます。

■非会員の参加申し込み

関西設計管理研究会 <https://keac.jp> より KEACについて > エントリーフォームから入力、または下記まで問合せください。

■お問合せ

関西設計管理研究会 事務局長

富士ゼロックス株式会社 SWI S&S営業部 ISS営業部 河添 俊幸 toshiyuki.kawazoe@fujixerox.co.jp

〒541-0042 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋15F

TEL : 06-6205-3471 FAX : 06-6205-3472

## スケジュール

13:20-13:30	【ご挨拶】 関西EAC会長 挨拶 (株式会社LIXIL)	関西設計管理研究会 会長 垂水伸輔 氏
13:30-14:30	【研究発表(前年度最優秀賞)】 <a href="#">KM紹介資料</a> 株式会社LIXIL ナレッジマネジメント推進者が語る!部門を超えた「知識の共有・活用・創造」取組みご紹介 株式会社LIXIL 情報システム本部 主査 村上 修司氏 <概要> 業務ノウハウや成功事例など、企業内に蓄積されたナレッジの共有・活用に積極的に取り組む企業が増えています。部門・拠点を超えて優れた取組みやノウハウを共有することで、全社的な業務の効率化、生産性向上が望めます。またさらに、投稿内容からある分野におけるエキスパートを発見したり、役に立ったコンテンツを評価することで、社内に新たな「人」と「人」のつながりが生まれ、働き方改革にもつながります。しかしこの活動は、「システム導入」すれば実践出来るものではなく、あくまで「社員の意識改革」の活動です。その取組みを展開し浸透させるのは並大抵のことではありません。今回は、株式会社LIXILのナレッジマネジメント(KM)推進担当として、「部門横断の知識の共有・活用・創造」をベースにした全社ナレッジマネジメント活動の取り組みについてご紹介します。	
	<参考情報> <a href="http://www.kmsj.org/mm/2018/07/mm-402/">http://www.kmsj.org/mm/2018/07/mm-402/</a> 日本ナレッジ・マネジメント学会の第21回年次大会「イノベーションを起こす組織 知を創るプロセスを創る」にて紹介された内容です。大会では、知識経営の生みの親と言われ、紫綬褒章受賞歴もある、野中郁次郎一橋大学名誉教授の特別講演もありました。(SECIモデル提唱者) 今回ご紹介するKMの目指す姿、現在の取り組み、ボトムアップの活動プロセス、Concur導入時のKMが活用されたこと、SECI偏差値評価によるチームランキング制度、日清食品HD様とのオープンイノベーション会などの場創り、などなど、SECIを意識して推進していることをご紹介します。	
14:40-15:00	【関西EACの活動紹介】 関西設計管理研究会 例会担当副会長 下川哲平 氏 (株式会社遠藤照明 LED中央研究所)	

- 15:20-16:50** 【特別講演】  
『グローバル・スタートアップ・アクセラレーターから見た日本のものづくりの強みと課題』  
株式会社Darma Tech Labs (MAKERS BOOT CAMP) 代表取締役 牧野 成将氏  
<https://makersboot.camp/ja/about/>  
「京都をモノづくりベンチャーの都に」というビジョンを掲げ、約3年前に国内外のハードウェアスタートアップのアクセラレーターとして創業しました。この関西EACでも創業後間もない時期であるH28.10月(第463回例会)にビジョンをお話させて頂きました。その後現在まで、国内外のスタートアップ支援、大企業との協創、Fabスペースの運営、試作ファンドの組成など様々な事業展開を行って参りました。これらの事業活動を通じ、グローバル視点から見える日本のポジション、大手メーカーの持つ潜在ニーズやスタートアップとの協創事例、そしてその成功要因や失敗要因などが肌感覚で捉えられるようになって参りました。今回は、3年間の事業活動の振り返りと共に、ファンドやスタートアップとの連携に強い関心を持つ大手企業との協創事例などについて発表致します。
- 
- 16:50-17:00** 【関西EACからのお知らせ】  
事務連絡
- 
- 17:45-19:45** 【懇親会】  
懇親会場:会場近隣にて企画します  
参加費 :3,000円 例会のご参加と併せてお申込みください。会費は当日会場でのお支払いとなります。
-